

会派代表質問
 〔会派名〕 公明党議員団
 〔氏名〕 中村 豊

問 臨時交付金を活用しての物流分野への支

援は

バスやタクシ―などの公共交通や、トラック
 など物流分野の事業者への経済支援で、原油
 高騰対策として、燃料購入費への一部支援に
 ついて問う。

答 県の制度を確認し市としての支援を検討

する

燃料費の一部支援については、原油価格や物
 価高騰の影響が大きいため、公共交通の経営を支援
 する上で、効果的な支援であるとの認識を
 する。本年6月県議会に提出した県の補正予算
 案の中で、公共交通事業者の事業継続を支援
 するため、燃料費や車両維持経費のうち、燃
 料高騰分については、支援する予算が計上され
 いる。事業内容としては、県内のバス、タク
 シ―、地域鉄道、内航・外航フェリー事業者
 を対象に補助するとのことや、この市と
 部分の補助を確認し、この市と
 に、今後確認し、この市と

支は流が
援現分あ
が在野る
適見にか
切当にお、
かたいた検
、らて討
検なはし
討い、て
しが公いく
て、費く。
い市で。
くと助ト
考し成ラ
えてしッ
でどのてク
あのいな
るよるど
。う事の
な例物

会派代表質問
 〔会派名〕日本共産党市議団
 〔氏名〕大西明子

問 市営住宅の改修について

市営住宅の多くが昭和50年代から平成15年にかけて建設されてきている。建設から50近く出てい
 過ぎており、改修・改善の要望が多くなる。梅が丘団地は、入居者数537人の内
 65歳以上のおり入居者は現在浴槽の改修要望が高齢者、
 特に単身入居者から出ていく。冬でもシヤワ
 くあり高齢者は浴槽に入れない。真冬でもシヤワ
 1人で済ませている。踏み入れず、冬でもシヤワ
 たら単身者は助けを呼ぶ。我慢が困難である。転倒し
 転倒を恐れてシヤワで湯舟につかっている。疲れを
 実体である。せめて「湯舟につかっている。疲れを
 取りたい」という要望を届けて改修を求めた。
 担当課は、入浴は生活ができれば対応を検討する
 だが、改修にはお風呂が使用できない期間がある
 2週間程度が生じる。浴室の構造など御力を踏まえ
 た。必要がある。浴室の構造など御力を踏まえ

。

て「居ながら施工」による改修が可能か対応
を検討したいと答弁。

・その他の質問事項について
・基地の基姿勢の見直しについて
・日米地域協定の見直しについて

会派代表質問
 「会派名」憲政会
 「氏名」貴船 斉

問 住宅防音工事における第一種区域の見直

しについで

答 見直しのための調査を実施する予定

国は平成4年に告示された、現存の第一種区域（75w以上）を、滑走路沖合移設や空母艦載機の移駐がされたことと騒音状況が大きく変化し、たとしてこれを見直す方針を示していく。そのための騒音調査は、令和4・5年度に予定している。騒音測定器は、今秋ごろから、国の設置している騒音測定器の使用し、飛行経路など、調査する。岩国基地に在する時期や、岩国基地所属以外、機に、影響も反映させるため、今年間を通して、実施する予定であり、調査結果については、市民説明会を予定し、調査結果については、成した「空母艦載機の移駐に係る航空騒音予測」を、沖合移設の影響を、75w以上の区域は、滑走路の減少、現存の1区は、ha

見 直 し を す る べ き だ 。
に よ る 騒 音 の 状 況 を 踏 ま え て 、
が 、 艦 載 機 の 滞 在 時 や 、 相 次 ぐ 外 来 機 の 飛 来
今 回 の 見 直 し が さ れ る 時 期 は 示 さ れ て い な い

一 般 質 問
〔 会 派 名 名 〕
〔 山 本 辰 会 哉 〕

問

況と安心・安全な場所への施設移転の改修状

問う。川西にある岩国スケットの安全性を懸念す

答 昨年の12月議会において安全性能の確保

る質問を受け、御指摘の工事の完了状況

を考慮し、6月13日、安全で利用しやすい場所へ

将来的には安心・安全に改修工事の完了状況

の施設移転も視野に、入札で検討し、い

ケーストボードも競技技術を導入した日米交流の場にな

ればとも考え、い

一般質問
二葉会
植野正則

問

よう国際秩序を無視し力による現状変更を
や北朝鮮の度重なるミサイル発射、台湾有事、
尖閣諸島を巡る危機などへの現状認識と、日
本国に脅威が迫った際の市民を守る方策と、
市民の命を守る核シエルトーの設置に向けて
取り組むことは出来ないか伺う。設置に向け
答 岩国市民生活と安全にたいしては、岩国市
であつては、国保で安全にたいしては、岩国市
民保護計画に国保で安全にたいしては、岩国市
に耐えるといふ観点から核攻撃の必要
性・有用性は認識しているから、核攻撃の必要
や県の検討・協議の状況に注視し、今後国
応する。管理課

象にできないか検討したていする。
 りの目的でないか検討したていする。
 なる増額は、新しい建築、補
 ついては、令和2年度に増額し、
 答 岩国産木材市場産品消費促進
 金の増額を検討できな
 中、市産品消費促進事業の見直し
 ショックの影響により、木材価格
 問 市内産木材の利用促進につ
 いて、ウツド

一般質問
 片岡勝則
 憲政会

一般質問
「会派名」
「市政改革クラブ」
「氏名」
「細見正行」

問

令和4年2月15日に策定された岩国市まちづくり実設計画によれば老朽化した横山ポンプ場の改築するところ。整備計画の進捗状況と今後の計画を問う。整備、5月14日に地域住民説明会を開催した。大きな事業費がかかるポンプ場の建設に備え、基金を積み立てる。新たなポンプ場の整備内容とスケジュールの詳細や事業用地取得の状況、早期に整備内容とスケジュールの詳細や事業用地取得の状況、い。事業が完了するまでスピーード感ある。取組

その

他の質問事項として
1. 地域の経済についで
2. 労働者への賃金を上げる施策について
3. 物価の高騰から市民生活の安定を図るについで

〔氏名〕	〔会派名〕	一般質問
河合伸治	公明党	議員団

問

答

本的に見直す時期に来ていて、今の在り方を抜
 本的に見直す時期に来ていて、今の在り方を抜
 発表をチャンスと捉えて市民目線の公共交通
 の在り方を打ち出す時期と考える。市の考え
 方を伺う。JRの発表は唐突感をもって捉え
 ている。今後JRの発表は唐突感をもって捉え
 ならない。課題である。幹線としていかなければ
 線としてバス・タクシーシフトの役割が支
 える。国の検討会の方針が7月には示される
 予定である。代替手段として公共交通の検討し
 段確保も含めて様々な選択肢について検討し
 ていく。

その他の質問事項
 ・男子トイレスクールの構想の現状と課題の設置を

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 憲 政 会 〕
 田 村 博 美

問 本 市 の こ れ か ら の 観 光 振 興 に つ い て 。
 観 光 P R 事 業 、 秋 に は 桜 の 事 業 や 東 京 都 庁 の
 器 を 有 効 活 用 し て 、 宇 野 千 代 生 家 ー 庭 の 紅 葉
 の ち っ ぽ い 地 域 住 民 と 都 市 部 の 人 と の 交 流 を 深
 め る こ と を 主 眼 に 体 験 型 観 光 の 推 進 に 取 り 組
 む 。 市 と し て は 時 に は 後 方 支 援 を 推 進 す る 。 当
 事 者 と し て 前 面 に 立 っ て 事 業 を 推 進 す る 。

問 中 山 間 地 域 振 興 の 地 域 お こ し 協 力 隊 に つ
 い て 、 彼 ら の 出 口 を 想 定 し た 隊 員 募 集 は ど う
 な っ て い る の か 。 隊 員 に つ い て は 、 退 任 後
 答 今 年 度 募 集 す る 隊 員 に つ い て は 、 退 任 後
 に 農 家 や 観 光 振 興 に 関 す る 会 社 へ の 担 手 と
 し て 働 い て も ら え る こ と を 視 野 に い れ て 募 集
 を 行 う 予 定 。

一般質問
 御楯會
 石本 崇

問 上海電力が買収した美和町のメガソーラ

にいて市の考えは。事業者と対等な立場

で書面を交わす必要がある。との市長答弁が

あつた状況もあり、事業地及び隣地域にお

ける生活環境と自然環境の保全及び本事業に

起因する災害等発生防止を目的として、

「環境保全等に關する協定の締結が必要で

ある」と考え、5月27日に協定の締結が必

要理由

なると、本市と同様に寄りそった内容として

のよ、近隣住民の代表者等が合理的な理由

れにより、本市と同様に寄りそった内容として

なるほと、本市と同様に寄りそった内容として

問 黒磯地区の「仮いこいと学びの交流テ

ラースに、インクルーシブ遊具を整備する。定

で、あ、ど、の、よ、うな場所や遊具がよいか検討する。

答

あ、ど、の、よ、うな場所や遊具がよいか検討する。

目 問
 本 年 視 瓦 谷
 府 知 事 中 盛 地 土 調 査 が 調 査 は 現 状 の 法 律 で は
 区 域 指 定 に お 規 制 区 域 を 指 定 出 来 る と あ る 。 ま た
 岩 国 市 か ら 瓦 谷 地 区 が 指 定 さ れ よ う 県 知 事
 に 申 し 出 て い た だ き た い が 市 の 考 え を 伺 う 。
 答 区 域 指 定 に 際 し て 、 市 町 村 が 関 与 出 来
 仕 組 み が 導 入 さ れ て い る の で 、 岩 国 市 と し て
 は 、 市 内 の 危 険 性 が 危 惧 さ れ る 箇 所 に つ い て
 ま ず 規 制 区 域 の 指 定 作 業 の 中 で 、 調 査 の 対
 象 区 域 に 含 め て も い る よ う だ 。
 い き た い と 考 え て い る 。

一 般 質 問
 〔 氏 名 〕 廣 中 英 明
 〔 市 民 ク ラ ブ 〕 草 の 根

を初 答 問
引め 公 J
きて住 共 R
出す民 交 岩
すよサ 通 徳
うーは 線
努ビネ の
めスツ 維
るがト 持
。実ワ に
現ーつ
すクいて
るとし問
。国てう
の機。
支能
援し
策て

い 答 ば い れ 地 む 5 現 の 極 さ 態 問
る ば い れ 区 し む 5 現 の 激 東 れ 調 令
。 現 ら 告 な 、 ろ ha の し の る 査 が 和
状 な 示 ら 柱 騒 に 第 い 安 。 が 行 4
の い 後 な 島 音 削 一 訓 全 ウ ク わ 、
騒 と 住 い 3 が 減 し 防 は 障 ラ イ ナ 最 新 の 防 衛 省
音 考 宅 。 島 増 し た い 工 後 も ら ぐ 中 、 岩 国 の 海 洋 進 出 等
の え を そ を 加 し よ う だ が 認 め ら れ ない 。
実 る 防 て 工 事 30 年 近 く 放 置 さ れ て
態 が 、 市 長 の 対 象 に 解 を 問 っ て
が 反 映 さ れ る と 思 っ て
。 映 され る と 思 っ て

〔 氏 名 〕 重 岡 邦 昭
〔 会 派 名 〕 市 民 ク ラ ブ ・ 草 の 根
一 般 質 問

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 藤 重 建 治 〕
 〔 新 政 和 会 〕

問 路 路 路 は、岩 国 市 中 心 部 と 玖 珂 西 地 域 を 結 ぶ 連 絡 道
 路 道 路 〓 で あ る が、30 年 豪 雨 時 に 見 ら れ る よ
 う に 災 害 に 対 し て 非 常 に 脆 弱 で あ る。幹 線 道
 路 の 整 備 は 災 害 時 の ダ ブ ル ネ ッ ト あ る。ク の 確
 保 に 加 え、交 通 渋 滞 の 緩 和、広 域 連 携 に よ る
 交 流 促 進、観 光 振 興 や 企 業 誘 致 に な ど、本 市
 の 活 性 化 に も 繋 が る と 考 え る。こ の た め、岩
 国 西 バ イ パ ス の 整 備 が 急 が れ る が、今 後 の 取
 組 を 伺 う。ス の 整 備 が 急 が れ る が、今 後 の 取
 答 岩 国 西 バ イ パ ス の 整 備 に つ い て、そ の 必
 要 性 は 認 識 し て お り、今 後、地 元 民 間 成 同
 盟 と の 意 見 交 換 等 で、機 運 の 醸 成 を 図 り 関 係
 機 関 に 強 く 要 望 を し て い く。醸 成 を 図 り 関 係

・ そ の 他 の 質 問 事 項 について

一般質問
 〔会派名〕
 〔氏名〕
 岩国
 リベラル
 野敦子
 姫

問 式典などの「起立」についで、
 答 市主催の式典など「起立」についで、
 をお願いする。今もありません。
 お願ひです。今後、ご負担も配慮し、
 の皆様の気持ちに寄りそうよう努める。

問 一人での入院する場合は、
 を呼んで入院する場合は、
 方の高齢化率は現在、65歳以上
 答 高齢化率は現在、65歳以上
 人暮らし26.1%、元気でなうか
 し、26.1%、元気でなうか
 ら、医療や介護などの方針を自
 を人に伝える事、更には、
 心配事などの相談相手も、
 低い。何か起こった時のため
 ような準備が必要か、
 など。考え行動できるよ
 うな準備が必要か、

り件し駅っ業出ア駅一の答応る問
 、活た前てににル周体5に第
 新用に南いよつ耐辺と年第1岩
 たさぎ地るりな震整備な51期国
 なれわ区°5が化備事業推っか期計
 出たいの第2間て業業進月を画問
 店「施再期でい「「進計に°
 のま設開計約るのやした期い
 促進な整備業の0またに国核とし
 とか備、や今後店の空きにぎわいの
 ぎ生ま図書につ出店店ぎわいの
 わ事た書にの空に店店ぎわいの
 い業、館つ出店店ぎわいの
 を「2機い店店ぎわいの
 創な年間を核岩国が
 出ど間で核岩国が
 すに48と国が
 るよ

一般質問
 二葉会
 片山原司

一般質問
 越澤二代議員団

問 ところで、新型コロナウイルス感染症の発生が急増している中、水ぼうそうや麻疹などの低年齢者による感染が蔓延する。トリス感染症の発生率が、高くなり、80歳代までに約3人に1人が発症する。しかし、帯状疱疹や水ぼうそうなどの感染症の発生率は、高齢者や高齢者の割合が高くなる。このため、高齢者の感染予防に努める必要がある。また、高齢者の感染予防には、ワクチン接種の促進が効果的である。このため、高齢者のワクチン接種の促進を図る必要がある。また、高齢者の感染予防には、ワクチン接種の促進が効果的である。このため、高齢者のワクチン接種の促進を図る必要がある。

問 家族や身近な人が亡くなったり、ご遺族に市役所等で手続きが複雑で、お手続きが難しい。また、高齢者の感染予防には、ワクチン接種の促進が効果的である。このため、高齢者のワクチン接種の促進を図る必要がある。また、高齢者の感染予防には、ワクチン接種の促進が効果的である。このため、高齢者のワクチン接種の促進を図る必要がある。

問 ン の 立 地 適 正 化 計 画 は 都 市 計 画 マ ス タ ー プ ラ
 形 成 向 け た 具 体 的 な 区 域 や 集 約 型 都 市 構 造 の
 る 。 都 市 再 生 特 別 措 置 法 に 基 づ く 居 住 誘 導
 区 域 都 市 機 能 誘 導 区 域 に つ い て は 施 策 等 が
 示 さ れ て い る 。 し か し 、 任 意 の 区 域 の 施 策 等 が
 り 居 住 区 域 ー や ー 自 然 ・ 田 園 居 住 区 域 ー に 必 要 で は な い つ
 い て も 具 体 的 な 計 画 や 施 策 等 が 必 要 で は な い
 か 。 他 市 は 、 そ の よ う な 区 域 に も 施 策 等 が
 見 ら れ る が 、 見 解 を 問 う 。 区 域 的 な 計 画 や 施 策 等 は
 答 任 意 の 区 域 に 具 体 的 な 計 画 や 施 策 等 は
 い が 、 こ れ ら の 区 域 に 実 情 等 を 踏 ま え た し ま ち 等
 や 快 適 性 の 実 情 等 を 踏 ま え た し ま ち 等
 く 含 め 専 門 家 の 意 見 も 参 考 に し な が ら ま ち 等
 く も の 進 め 方 等 に つ い て 調 査 ・ 研 究 す る 。

一	般	質	問
〔	氏	名	〕
〔	会	派	名
〕	桑	田	勝
	弘	議	員
	團		

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 湧 水 〕
 〔 氏 名 〕
 矢 野 匡 亮

問 山 陽 本 線 、 岩 徳 線 、 錦 川 清 流 線 等 の 駅 に つ
 い て 、 ど の よ う に 取 り 組 む の か ？
 答 鉄 道 事 業 の 経 営 は 、 大 変 厳 し い 状 況 が 続
 い て お り 、 鉄 道 路 線 の 維 持 ・ 確 保 に つ い て は
 鉄 道 事 業 者 の み な ら ず 、 関 係 す る 交 通 事 業 者
 や 行 政 機 関 と 連 携 し て 取 り 組 む べ き も の と 考
 え て い る 。
 基 本 的 に は 、 J R 以 外 の 駅 舎 の 改 修 工 事 は 、
 考 え て い る が 、 利 用 者 数 減 少 に 歯 止 め を か け
 る 対 策 に つ い て は 、 引 き 続 き 少 歯 止 め を か け
 を 考 え な が ら 実 施 し て い く 。
 ・ そ の 他 の 質 問 事 項 処 遇 改 善 に つ い て

一般質問
 創志会
 藤本泰也

問 対応に ついて 適正化（統合）を推進する学校への

適正化を推進する学校の15校中5校が周東町
 にある。地域からは「なぜ一緒にならないの
 保護者からは「もう、自分たちから言える状
 況にない。」「等の意見がある。周東中学校区で
 の小中一貫校・適正化等の説明会はできない
 か。また、給食センタータリ跡地、教員住宅跡地
 が隣接する周東中学校に集約した一体型の小
 中一貫校にならないか。

答 高森小学校の改築時期か、PTAのほう
 から話があれ対し、建設するのと、現状では、
 小・中学校を別々に建てると、地域の見聞
 いが、時期にならば保護者、地域の見聞
 いて対応したい。ば保護者、地域の意見を聞

その他の質問事項
 市の学校施設長寿
 化計画について

周東町の水道整備について

問
市は岩国基地への相次ぐ艦船の入港について、
を要請して、いながら、適切な情報提供
分後に、強く抗議する必要がある。5分前に提供
された。強化に抗議する必要がある。5分前に提供
→トリポルに乗船した。福田市長は20日、広
報サイトリポルに乗船した。福田市長は20日、広
りポリを訪問し、長い航海への謝意を述べた。20
とある。日本軍は、謝意を述べた。20日、広
て、歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広
る。歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広
れ。歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広
は。歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広
い。歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広
増える。歓迎が行った。謝意を述べた。20日、広

一般質問
氏名
長岡辰久
日本共産党市議団

一般質問
 憲政会
 中村雅一

問 岩国大規模自然災害への対応について
 岩国市国土強靱化地域計画に
 関係する脆弱性評価、
 重要業績評価指標の救急・医療活動、
 二次災害の防止、迅速な再建回復、住宅建築、
 物の耐震化、道路施設の耐震化等の促進、消防団に
 施設等の耐震化等の促進、消防団について
 答 最終段階、自主防災の確保に充実に
 を官民共同で対策を考えてはか
 く、危険な箇所を撤去推進、橋梁の
 寿命化は架け替えも
 視野に入れ検討、水道施設の耐震化
 推進、消
 防団の育成マチュアルを策定。
 脆弱性評価による対応マチュアルを
 策定。

問 災害に強い岩国市をつくるための
 施策について
 答 各担当部局にて対応事業を推進。

一般質問
 志誠いわくに
 丸茂郁生

問 シンフォニアのまちづくりについで敷地の内樹木が繁茂し、落ち葉が多過ぎる。住民は清掃活動時、非常に大変で困っています。隣の住人は清のほうからも非常に大きくなり、要望していただき、有効な対策を講じるよ

問 小瀬地区のまちづくりが遅れているので、防災の観点から早期に整備を行う必要がある。

答 小瀬川を道に管理する国と設計の協議中であり、協議が整い次第、詳細設計に着手し、その後、用地交渉に入る。伺ったように要望している。市の意向が、今年

一
般
質
問

〔
会
派
名
〕

〔
日
本
共
産
党
市
議
団
〕

田 問
に 転
は 作
こ 5 年
と に 励
ん 、 金
な 反 対
影 響 が
ある の
か。 っ
て いる
。 岩
削 作

約 答 国
現 在 の
支 給 実
績 は、
個人農
家 2
0 戸に

棄 〇 約 答
増 万 円
、 、 交
付 金 対
象 人 16
名 外 国
に 約 1
、 0 3

が 〇 約 答
増 万 円
、 、 交
付 金 対
象 人 16
名 外 国
に 約 1
、 0 3

問 求 め 世 界 的 食 糧 危 機 に 対 応 し、 自 給 率 向 上 を
求 め る。 物 価 高 対 策 臨 時 交 付 金 の 自 給 率 向 上 を
交 付 額 は 約 5 億 3 〇 〇 〇 万 円 の 補 正 算
入 計 上、 〇 〇 〇 〇 〇 〇 万 円 の 対 応 限 度 額 は
3 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
、 算 入 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
、 算 入 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
、 算 入 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 市 民 目 線 〕
 〔 氏 名 〕
 〔 広 中 信 夫 〕
 考 え 行 動 す る 会

問

姻 件 数 の 減 少 に 他 な ら ない 。 少 子 化 の 原 因 は 婚
 未 婚 ・ 晩 婚 化 の 進 行 に あ る 。 以 前 は 結 婚 は 個
 人 の 問 題 で 行 政 が 関 与 す る こ と に は 否 定 的 な
 考 え も あ っ た 。 職 場 が 果 た し て い た 縁 結 び 機 能
 が 低 下 し た 。 こ の こ と が 自 治 体 主 導 の 支 援 事
 業 を し な け れ ば な ら ない 最 た る 理 由 で あ る 。
 岩 国 市 は こ れ ま で 少 子 化 対 象 と し て 出 産 ・ 子
 育 て 環 境 の 充 実 を 中 心 的 な 政 策 と し て 行 っ て
 き た 。 し か し な が ら こ こ で 、 他 自 治 体 の 様 に
 こ れ ま で の 方 向 性 か ら の シ フ ト チ ェ ン ジ を 行
 い 、 結 婚 を 実 現 で き る 環 境 づ く り の 為 、 行 政
 内 に 専 門 部 署 を 設 置 し 、 婚 活 支 援 の 補 正 予 算
 化 に よ る 行 政 主 導 の 取 り 組 み の 検 討 を 求 め た
 。

・ そ の 他 の 質 問 事 項 行 政 支 援 に つ い て

〔 氏 名 〕 〔 派 名 〕 一 般 質 問
 〔 武 田 伊 佐 雄 〕 〔 憲 政 会 〕

問 用 会 館 の 指 定 管 理 者 制 度 に つ い て 調 査 す る と、
 料 を 取 っ て い る 中 で、 市 民 へ の 公 平 性 を 考 慮 し て
 合 併 前 の 制 度 に つ い て 市 民 の 踏 襲 を 見 直 し、 条 例
 改 正 が 必 要 だ と 考 え る が 市 の 見 解 を 伺 う 条 例
 た、 地 元 自 治 会 が 管 理 す る 集 会 所 等 の 使 用 料
 指 定 管 理 料 等 に つ い て も 供 用 会 館 と 同 格 と し
 て 見 直 す べ き で は な い か。 供 用 会 館 と 同 格 と し
 答 指 摘 の 市 民 に 身 近 な 公 共 施 設 と し て は、 議 員 各
 施 設 へ の 体 育 館 な どの 含 む 集 会 所 な どの 設 け 及 び
 一 文 化 会 館 等 が あ る が、 こ れ ら の 設 け に 係
 る 基 本 方 針 で は、 施 設 の 使 用 料 に つ い て、 市
 と 民 公 平 性 の 観 点 か ら、 見 直 し を 検 討 す る こ

一般質問
 〔会派名〕
 〔市政改革クラブ〕
 〔氏名〕
 瀬村尚央

問 養気園における今後の取り組みについて
 答 魅力ある資源を最大限に活用する。昔の賑わいを取り戻すべく地元と協議していく。

問 ふくろ公園の広場について
 答 天然芝で、管理が大変だが事前協議してほしい。

問 側溝の軽量化について
 答 側溝の实际情况を考慮して地元調整を行い、

問 若者の住みやすさ
 答 18歳から29歳の若者の住みやすさを考える。子育て世代への支援を引続き行なっていく。

問 戦略的
 答 戦略的

問 けがら
 答 けがら